

令和7年5月12日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長  
(防災研究所長)

堀 智晴

### 教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした組織であり、平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

### 記

1. **職 種**： 教授
2. **募集人員**： 1名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所  
大気・水研究グループ 水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域  
(所在地：宇治市五ヶ庄)  
大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
5. **職務内容**：  
自然的・社会的環境変化が水資源システムにどのような影響を与えるかを分析し、治水・利水・環境のバランスのとれた統合的流域管理手法に関する研究を推進する。特に、自然環境と社会経済活動の相互関係に向き合い、生態系を活かした防災・減災のための技術開発、河川水辺の自然再生技術開発等、環境共生型の持続可能な社会実現に向けた研究を通じて、流域管理政策・計画を学術分野として体系化する人材を期待する。教育面では、工学研究科都市社会工学専攻の教育を担当する予定である。
6. **資格等**： 博士の学位を有すること。  
国籍は問わないが、日本語に堪能であること。

7. **採用予定日**： 選考後、可能な限り早い時期
8. **任 期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**：  
・専門業務型裁量労働制を選択した場合は、1日7時間45分相当、週38時間45分相当  
・専門業務型裁量労働制を選択しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00）  
・超過勤務を命じる場合あり  
・休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、創立記念日
11. **給与・手当等**：本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法**：  
次の(1)～(6)各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- (1) 履歴書
  - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
  - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
  - (4) 研究業績の概要（A4用紙3ページ以内）
  - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
  - (6) 2名からの推薦書（推薦書に代えて、応募者について意見を伺える方の氏名と連絡先でも可）
14. **書類提出先**：  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付  
水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域 教授候補者選考調査委員会 宛
15. **応募締切**： 令和7年8月18日（月）17時【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：  
水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域 教授候補者選考調査委員会 宛  
e-mail: apply\_staff[at]dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）  
（電子メールに限ります）
18. **その他**：  
(1) 応募書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。  
(2) 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待

しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

- (3) 研究業績の評価に関しては、出産・育児・介護等で研究活動を休止した期間（ブランク期間）の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。
- (4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- (5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。 <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

## 水資源環境研究センターの概要

### 1. 研究目的及び研究内容の概要

水資源環境研究センターは、水資源問題に関わる自然・社会現象を理解する目的で、昭和53年（1978年）に設立された。水の循環を様々なスケールにおいて理解することは、地球温暖化や生態システムの攪乱など深刻な環境問題の解決の鍵となる。当センターでは、リモートセンシングや全球気候モデル、大気-陸面過程モデルなどの技術を用い、ミクロな水文素過程から地球規模のマクロな現象までのマルチスケールにおいて水・物質の循環と社会システム、生態システムとの関係の解明を進めている。さらに、その結果に基づき、巨大災害や地球温暖化、地域開発に伴う深刻な環境問題のリスク評価、およびその対策としての社会基盤整備に活用するための方法論について研究を進めてきた。今後も、水循環の深い理解に基づく、社会、生態システムの統合的管理について革新的な研究を進めていく。水とかがわる社会、生態システムの効果的・持続的な管理を実現するためには、気候や社会の変化レベルに立脚したパラダイム構築が不可欠である。当センターでは、ジオ（地球物理システム）、エコ（生態システム）、ソシオ（社会システム）の統合として水資源問題にアプローチしてきた蓄積を生かしつつ、こうしたパラダイムの構築に、物理学的、社会科学の双方の視点から取り組んでいく。

#### 地球水動態研究領域

水循環システムと社会システムとの持続可能な関係を実現するため、経済・社会活動を組み込んだ全球水資源ダイナミクスモデルの開発、水利用システムの計画と制御、水災害リスクの評価と管理、水関連災害時の人間行動に関する研究を進めている。

#### 地域水環境システム研究領域

社会条件と自然条件の双方を考慮した総合的な水資源管理を可能とするべく、降雨流出、陸面過程、地下水の量と質のダイナミクスを記述するとともに、作物生育などの生産系、貯水池操作などの水管理系を取り込んだ統合水資源管理モデルの開発を進めている。

#### 社会・生態環境研究領域

水資源における中長期的な環境的課題に取り組むために、自然的（ジオ・エコ）・社会的（ソシオ）環境変化が水資源システムにどのような影響を与えるかを分析し、リスクマネジメントの観点から研究を行っている。

### 水資源分布評価・解析研究領域（客員）

水・熱・物質循環系の動態解析や人間・社会と自然との共生を考慮した水資源システムの評価・計画・管理研究の推進に際しての知識提供や技術支援のため、また、社会的要請の大きな時事的課題に対応するために、適した研究者が招聘されている。

### ダム再生・流砂環境再生技術研究領域（産学共同研究部門）

流域治水およびカーボンニュートラルの両面からの既存ダムの運用高度化のために、洪水調節機能の強化や水力発電の拡大に向けた「ダムの再生」とダムの長寿命化と河川・海岸環境の改善のための「流砂環境の再生」の両面から技術開発を進めている。

## 2. 現在の教員構成（2025年5月1日現在）

	【教授】	【准教授】	【助教】
地球水動態研究領域	堀 智晴	—	山田 真史
地域水環境システム研究領域	田中 賢治	萬 和明 峠 嘉哉（特定）	（準備中）
社会・生態環境研究領域	（今回公募） Kantoush Sameh	小林 草平 Mohamed Saber Mohamed Sayed Ahmed（特定）	—
水資源分布評価・解析 研究領域（客員）	遠藤 崇浩（客員）	椿 涼太（客員）	—
ダム再生・流砂環境再生技術 研究領域（産学共同研究部門）	角 哲也（特定）	有光 剛（特定） 恩田 千早（特定） 吉村 健（特定）	松本 知将 （特定）

なお、当研究センターは、気象・流域災害研究部門、気候変動適応研究センターとともに大気・水研究グループを構成し、地球環境の変化を見すえた大気・水に関わる災害の防止と軽減ならびに水環境の保全のための研究を推進しています。詳しくは、京都大学防災研究所のホームページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp> をご参照下さい。

### 共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

**Professor Position in the Research Section of Socio and Eco Environment Risk Management,  
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

**May 12<sup>th</sup>, 2025**

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

**Location:** Research Section of Socio and Eco Environment Risk Management, Water Resources Research Center, Atmosphere-Hydrosphere Research Group, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan (at home or other places if University allows or orders to work remotely).

**Job description and required qualifications:**

The appointed professor is required to analyze how natural and social environmental changes affect water resource systems, and promote research on the methodologies of integrated river basin management that balances flood control, water utilization, and the environment. In particular, he/she is expected to systematize river basin management policy and planning as an academic field through research aimed at realizing an environmentally symbiotic and sustainable society. The research areas cover the development of technologies for disaster prevention and mitigation that utilize ecosystems and for river restoration, while addressing the interrelationship between the natural environment and social and economic activities. In addition, the candidate will have responsibility for education in the Department of Urban Management, Graduate School of Engineering, Kyoto University. The candidate must hold a Ph.D. or equivalent degree and be proficient in Japanese.

**Anticipated start date:** As soon as possible after the selection.

**Probation period:** 6 months

**Working time:** Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week). If the discretionary labor system is not chosen the working hours are from 8:30 to 17:15 with a break between 12:00 to 13:00. Overtime may be ordered. Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year's holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

**Salary and Allowance:** To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

**Social insurance:** (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

**Applicants should prepare the following materials:**

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to three A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters from two references (a recommendation letter may be substituted by the name and contact information of a reference, including the postal address, and e-mail address)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, August 18<sup>th</sup>, 2025 at the following address:

Selection Committee for Socio and Eco Environment Risk Management Professor  
Administrative Office, Uji Campus,  
Kyoto University  
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to apply\_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

**Additional notes**

- (1) The university will not return your application documents.  
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.  
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) With regard to the evaluation of research achievements, the impact of periods of interruption in research activities due to childbirth, childcare, nursing care, etc. (blank periods) will be taken into consideration. If there are blank periods, please indicate them at the end of the list of publications.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand smoke.

**Current staff (as of May 1, 2025)**

---

Research section	Professor	Associate Professor	Assistant Professor
------------------	-----------	---------------------	---------------------

---

---

Global Water Dynamics	Tomoharu Hori	-	Masafumi Yamada
Regional Water Environment Systems	Kenji Tanaka	Kazuaki Yorozu Yoshiya Touge (PS)	vacant
Socio and Eco Environment Risk Management	<i>this recruitment</i> Sameh Kantoush	Sohei Kobayashi Mohamed Saber Mohamed Sayed Ahmed (PS)	-
Water Resources Distribution Assessment	Takahiro Endo (VP)	Ryota Tsubaki (VP)	-
Dam Upgrading and Sediment Environment Restoration Engineering (Industry-Academia Joint Research)	Tetsuya Sumi (PS)	Tsuyoshi Arimitsu (PS) Chihaya Onda (PS) Takeshi Yoshimura (PS)	Kazumasa Matsumoto (PS)

---

Note PS : Program Specific, VP : Visiting Professor